

科目名	生涯学習論 Theory of Lifelong Learning						
科目担当者	小野 創太 ONO Sota						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科〔専門教育科目 自由科目〕 経営学部・経営学科〔専門教育科目 自由科目〕				ディプロマポリシーとの関連	(5)(6)	
授業の概要	本講義では、生涯学習とは何か、生涯学習が果たす民主主義学習としての役割とは何かについて考察する。高等教育以後の教育は、本来、初等・中等教育との接続を図る必要があり、教育者を志す者はその接続性とは何かについても明らかにする必要がある。本講義では、「民主主義の学習」の思想性や国内外の政策・実践の動向に着目することで、この接続性に関して考察・議論したい。この考察・議論は、指定した教科書の購読を中心として行われる。難解な議論となってしまうことを防ぐため、身近な教育思想・政策・実践を踏まえて講義を展開していく。						
授業の到達目標	<p>①生涯学習とは何かについて「民主主義の学習」という考え方から理解・考察することができる。</p> <p>②「民主主義の学習」をめぐる社会・文化的文脈を国内外の教育政策・実践の動向から考察することができる。</p> <p>③よりよい生涯学習とは何かについて思想・実践のレベルから構想することができる。</p>						
授業計画・内容	1	オリエンテーション					
	2	生涯学習とは何か					
	3	生涯学習とシティズンシップ					
	4	シティズンシップ教育の理念と目的					
	5	日本におけるシティズンシップ教育カリキュラム					
	6	諸外国におけるシティズンシップ教育カリキュラム					
	7	生涯学習を取り巻く社会・文化的文脈					
	8	高等教育と民主主義の関係性					
	9	民主主義の学習とは何か					
	10	民主主義の学習からのシティズンシップ教育の捉え直し					
	11	生涯学習としての民主主義の学習とは何か					
	12	生涯学習としての民主主義の学習が果たす社会的役割とは何か					
	13	生涯学習による公共圏の形成とは何か					
	14	よりよい生涯学習とは何か					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	教科書の購読を通じた講義内容の予習（毎週2～3時間程度）。						
授業外学修 (事後学修)	講義においては教科書の内容に関する学生からの報告を必須とする。そのため、担当者は報告レジュメの作成を行うこととする（8～10時間想定）。						
成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	講義内のレジュメ・レポート作成				50%	①②③	
	期末レポート				50%	①②③	

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	『民主主義を学習する：教育・生涯学習・シティズンシップ』（勁草書房）
参考文献	講義内で適宜紹介する。
その他	教科書を必ず購入すること。